



2021. 8 No11

はたけ便り

NPO 法人みんなのプロジェクト
福岡市早良区梅林6-23-3
Mail: hatakenoie2020@gmail.com

「親離れと子離れ」

水野 英尚

今年の夏は、厳しい暑さと共にお盆辺りから大雨が続き、九州北部や近畿に「大雨特別警報」が出されるなど、例年とは違う「夏」を過ごしています。この雨による被害も出ており、互いが命を守る行動を優先して、これ以上被害が大きくならないことを心から願っています。そして、さらにコロナ感染症が相変わらず拡大している状況は、国が推奨する`新たな生活様式、だけでなく、私たちの思考や文化そのものを変化させなさいと、自然から要求されているのかもしれない。

さて、`はたけのいえ、の住人たちは、この間それぞれの`実家、で過ごしました。主(あるじ)がいない明かりの消えた部屋はもの悲しさを湛えているようで、私たちも寂しい休日を過ごしました。きっと`実家、では、毎週のようにそうした光景があり、どこか切ない気持ちでいる家族の姿がふっと思い浮かんできました。

`親離れ、や`子離れ、と言いますが、障がいのある子をもつ家族にとって、それは切実なテーマであろうと思います。特に、重い障がいゆえに自らで`表現、することが困難とされている者たちにとって、その時期やタイミングは多くの場合、当事者本人というよりも家族(親)の理由により、決められているように思います。あるいは、先方(施設)の空き状況によって時期が早められたり、入居の順番を待たなければならない状況となります。それが、本人と家族の双方にとって`幸せな決断、であれば、他者がそれを評価することではないと思いますが、しかしそれが「仕方がない」とか「あきらめる」というような言葉で括られてしまうのなら、そうしない、させないための手立てや方法を考える必要があります。親は子どもの幸せを願い、子どもはまた親の幸せを願うものだからです。つまり、人生は障がいを理由に「仕方がない」や「あきらめ」てはならないものだと思います。重い障がいのあるわが子を、長い月日を重ねて`子育て、をしてきた親たちにとって、`子離れ、するにも月日を重ねていく必要があります。そしてそれは、子の方にも言えます。そうした互いの経験ができる`場、が必要です。互いの幸せを願いながら巣立とうとしている青年たちを、後ろからそっと支えられる場所でありたいと願います。



サポーター会員の新規登録ありがとうございました。

河村 富美子様、和田 好史様、和田 淳様、木村 三恵様、内藤 千恵子様、原田 翼様、
深川 浩司様、緒方 美穂様、下川 勝三様、荒木 真由美様、鶴田 薫様、大川 泰典、
大岩 ひかる、安宅 正美、荒 隆英、荒 桃子様、仁田野 昭子様



ご寄付をありがとうございました。

松崎 淳子様(4/18)、小村 純子様(4/22-7/14)、藤田 直子様(5/28)、野口 幸弘様
(6/7)、中村 知子様(6/7)、西頭 京子様(7/3)、西田 恵利子様(7/3)、三浦 寛様
(7/14)、ニシ ヒロタカ様(7/17)、安東 洋子様(7/20)、吉田 博美様(7/14)、
浅川 信子様(7/20)、石黒 洋子様(8/5)

※「はたけ便り」のバックナンバーは「NPO法人みんなのプロジェクトHP」から
ご覧になれます。(<https://minnanoproject.org/>)

Facebook(<https://www.facebook.com/>) 「特定非営利活動法人みんなのプロジェクト」
にも、これまでのニュースや新聞記事等を掲載しておりますのでどうぞご覧下さい。また、
ご覧の際には、友達申請と「いいね」の評価やフォローの方もどうぞよろしく願います。

「SharedHome はたけのいえ」ボランティア募集！！

～あなたの `お時間、少しだけないででしょうか？～

連絡先:090-7921-7584(水野)

